



阿波三峰

# 朝念暮念

## 中津峰山如意輪寺

徳島市多家良町中津峰  
TEL088-645-0008FAX645-0508  
http://www.mt.ne.jp/~nyoirin  
nyoirin@mt.ne.jp

バス便、3/19 9:30ア三前発

問い合わせい合わせ : 徳島市バス観光課 088-652-2133

### 親子の鐘の中津峰

### 家族

「三年ぶりにお参りさせていだきました。体調をくずしていましたが、やっとこの階段を登って行くことができました」とTさんがみえた。Iさんは現役時代は元氣そのもの、当山も本堂までではものたりず頂上三十八社まで一気に登って友人と時間を争っていた。定年を迎えた頃、何に気なしに人間ドックに入った。腎臓が悪い。それも相当悪化しているという。元気がわさわわしていたのが、病気の経験のないTさんはより大きいショックを受け、落ち込んだ。以来、酒ひたりの生活。それを目の当たりにしたTさんの息子さん夫婦が父にないしよで腎臓の名医を探しはじめた。Tさんは「若いときから、男は働いて、お金を稼いでくるもの。家族の面倒は女房が見るものという典型だった」と。息子から「良い医者がある。だまされたと思うて行こう」といわれたとき、息子がこんなに親切にしてくれることへのとまどいと驚きを感じた。だが、もう腎臓は透析を必要とし、さらに肝臓もかなり悪くなっていた。息子の行為をTさんは「息子が医者連れて行ってくれただから、肝臓も分かった。知らなんだら、酒を飲み過ぎて、もつとつに死んどるところだった」と考えた。半年あまりの入院の末、奥さん、息子さん、お嫁さんの看護のあいあって退院にこぎつけた。しかし、Tさんの身体は腹膜透析を要

し、車椅子であった。両者いづれをとつても多大な家族の介護を要するものである。「私は家族に申し訳ない」とただ々々感謝した。自宅療養するうち、息子さん夫婦に第二子が生まれることとなった。元氣になれば上の子の面倒が見てやれる。そうしたら家族にいくらかのお礼ができる。Tさんは目標を立てた。やがて車椅子を離れ、近くの浜辺で一步一步とトレーニングをはじめた。第二子誕生の頃には上の子供の面倒が見られるくらいに体力がついた。爾来、子供といつしよに浜辺で遊ぶ。我が子のときには考えられなかったことである。子供は日増しに成長していく。それについて行くには益々元氣が必要だ。子供のおかげでだんだん体力が付いてきて、今日、この階段が登れました。我が家は息子家族が同居してくれる。ありがたいことですね。この病気になるなら、家族のありがたみを知らんずくにあの世へ遊んでほしい」と元氣に話された。

### 選挙制度の矛盾点

ある朝、小松島方面から選挙の連呼が聞こえる。「今、選挙はないはず」と耳を澄ますと徳島二区の衆議院出馬予定者某である。市会議員クラスのアンブの質ではないらしく当山まで語尾がはつきり聞こえる。もう選挙がはじまった様相である。平成八年に現在の選挙制度で衆議院選挙が行われ

た。そのときの本誌に選挙区当選議員を一等、比例区を二等、選挙区を落選し比例区で当選したのを三等と等級をつけた。それ以来、この間の定員が二十人減った以外は何ら変わっていない。等級をつけたゆえんは一等の選挙区は問題ない。比例区は個人に投票しないからある党派の基準でそれこそ等級をつけられたものが私たちの総意となる。次は私が投票したい政党であってもその人物はいやだというとき他の政党に投票するか。次に議員さんの仕事の一つは地元と国会のパイプ役である。四国の比例区で当選した議員は四国のパイプ役でなくてはならぬ。だが現実には四国比例区の某は徳島一区に張りついている。我々も四国の比例区で当選した人を全然知らないからお互いさまだ。三等の第一は供託金没収という人が実際と当選した。選挙における供託金制度は泡沫候補を防止するための制度だ。なら供託金没収は泡沫候補の証明ではないか。それなのに当選である。しかし、この制度で当選した議員は今回中山建設大臣をはじめたぐさん大臣をしている。地元がノーといったのと思つとんだかいやな気がする。また、政党がないのにそのときの比例名簿のみ生きていく。今はなき新進党名簿の次点である野村サッチーが当選するかもというものである。また、比例区は政党を選ぶ、それなのに当選したら政党をかわる。「これが許されるのか」といった

### 少女の監禁・飼育

一月二十八日午後十一時のラジオニュースで、精神病で病院に収容された男についていた女性がいた。彼女は九年前に拉致された少女である。両親の間に聞かないかといつとウンと答えた」と報じた。それを聞いて私の眠りかかった脳はとたんに目を覚まし、テレビを見に行つた。しかし、その夜はそれ以上の情報はなかった。その後、週刊文春が独自の見解でこの拉致男の氏名と顔を公表した。しばらくして、幼い少女の青春を踏みにじつた極悪犯が逮捕され佐藤宣行が全マスコミに公表された。彼の経歴は既にマスコミで報いられているので略す。発見の事情は佐藤が精神の破綻をきたし母親が精神病院通報、医師等が彼の部屋へ駆け込んだとき、一人の女性を発見したという。佐藤の母親は二階にいる少女を知らなかつたといふ。両者発見後が初対面だといふ。この経緯は先の「週刊文春」によるものだが、その後、冒頭のニュースの内容は新潟県警がねつ造したもので、それから発展して

3月21日(火) 10:00~

# 供影御正 お土砂加持法会

ご先祖様のお彼岸のご供養に是非お参りください。

県警本部長の辞職。とどまらず警察庁のもっと上まで飛び火するだろつが、私はこのことには興味がない。当初この事例に心理学、精神病医系の人たちがいろいろと評論したが、そのよくな簡単なものではない。人間が猿や狼の中で育てられたアベロの野生児、インドのアマラとカマフの話がある。また、名前を忘れてしまったが、ヨロツパで十八歳まで石牢の中で育った王族いた。発見当時白痴の状態であったといふ。しかし、野生児が一年後に死んだのに対し、この王族は今様にいえば社会復帰ができたといふ。石牢で外部と一切交流がないといつても人間社会で

の交流があつたことが考えられる。今回の女性の場合、拉致されたのは小学校高学年、母国語の読み書き、子供としての完成度は高かつたらう。だが、青年期を社会から遮断した状態、精神障害者との異常な空間のなかでの約十年間。これは先述の野生児や王子の事例に匹敵する。社会復帰させるには世界の心理学者の英知を結集しいものだ。非難を覚悟でいえばこういふ事例は世界でもめずらしい。人間の能力限界、本性、児童虐待、多重人格、青年期の研究等々テーマは限らない。県警本部長はこの重大な認識する能力が欠けていた。

一冊の本 『さゆり』 文藝春秋社 上下一巻 各1600円  
昭和の初め。京都、祇園に売られた少女「さゆり」が一流芸者になつて渡米するまでの一生の聞き書きという構成。この物語で祇園に住む人々の生き様、風習、言葉、長いタタロックス、どれをとつてもたいへんおもしろい。だが、この本の著者はアメリカ人。日本に何度も来て調べ上げた。将軍に見られるように日本に来た外国人の眼でといふ手法が多いが、本書は「さゆり」といふ日本人娘の一人称一件モデルがあるよつに思えるが、全くのフィクション。それを「訳者覚書」としてオランダ系の歴史学者が老芸者へ聞き書きした

再度スオミ大学紹介  
米国のシガン州ハンツクのスオミ大学を再紹介する。スオミ大学はスオミ共和国の首都ヘルシンキにある。この地方は地球のえくぼ五大湖とともに氷河期の氷河の爪痕の湖が多い。スオミ共和国のほぼ中央に突き出した島がキウナイ島。といつてもハンツクとポートンを切り離す海峡に橋が架かつている。ここも氷河の爪痕で狭いが深く、外海が荒れたときの通行につかつたよう橋は今でも上下する。キウナイ島は第一次世界大戦頃までは世界一の銅山であつた。百年余り前にここに移民が来た。ハンツク、ポートンの町はその頃の建物が多

また、標高が高いカルドゥエイトは最盛期はプロドゥエイトより先に上演されたといふ文化財の劇場を中心に町並み保存地区がある。この地方に一番多く移住したのはこの地方の気候、風土が似るフィンランド人であつた。スオミそれは森と湖の国、フィンランドの別称、千湖国の意である。彼らはルーテル派のキリスト教徒。マルチン・ルッターは門扉に数箇条の抗議文を掲げカトリックに抗議した。プロテスタントとは抗議に由来する。そのなかで聖書に直接といふのが第一だつた。当時の聖書はラテン語、それを各国語翻訳する一方、聖書を読むためには教育を行つた。この地方に移住したフィンランド人たちがかか

理由でスオミカレッジを創つた。一八九六年のことである。オールドメインとして残る寮だ。歴史的建造物を大切にしながら近代的施設設備が充実している。全米大学の三〇%しか認定されていない「全米教育基準認定協議会(Copa)」の認定を受けている。結果、ここでの取得単位は全米の大学で通用する。トランスファーの単位だ。また、ポートンにあるシガン州立(国立)のシガン工科大学とは姉妹校、テックの留學生の英語教育を担当している。逆にシガンテックとスオミの単位は通用する。

ある縁でスオミ大学と母校高野山大学とで教育に関するシンポジウムを開催した。その企画運営を行つたことで総長口ハートロード(ボブ)とは友人になり、日本留学事務局局長の山本晃博士の推薦によって入学面接委員をすることになった。アメリカの大学は入学制度が日本と異なる。普通アメリカの大学は英語力、手続き等が難しいと敬遠する。だが、スオミへの正式入学は入学面接委員の私との面接で決まる。その後、ペテランの事務局長山本PHDがカウンセリング、入国手続(ビザ申請)、そして八月に現地合入率する。入学後は特別なクラスで英語教育を行う。一方で英語による大学教育を履修させる。二年経つて所定の単位が取れたら成績によって他の大学へ乗り換え(トランスファー、編入)できる。もちろん三年、四年の課程を卒業しても良い。だが、アメリカの大学では入学した大学をそのまま卒業するものは少ない。徳島出身はA、ウエスタンシガン大学を卒業して現在徳島市で就職。B、ニューヨークの大学でデザインを学び今年卒業の予定。C、ニューヨークで音楽を。女性のDはアリゾナでパイオテックノロジーを。在学中のEは宇宙工学希望でトランスファー準備中と枚挙にいとまない。もちろん二年短大卒業資格を取つて帰つた学生も十人ほど。

学費は入学納付金七四〇〇\$ (入学から卒業までプログラム総経費) 授業料、のわゆる授業料、寮費、三度の食費但し日曜は二食を含む(一五四六〇\$ (八分納可) が基本。その他、入寮時の生活用品購入費、お小遣い。最初の入学時一週間程度アメリカを見せたい校させる旅行と渡航費が二十八万円程度。あとの帰国は向こうで航空券を買つて往復千ドルを割つたとか。だと東京の学生が年数回帰ることを考えると差はない。トランスファー後の授業料は大学によって差違があり、名門大学は相当高い。私と面接して一度チャンスを試してみれば、四月いっぱいぐらい可能。

入寮時の生活用品購入費、お小遣い。最初の入学時一週間程度アメリカを見せたい校させる旅行と渡航費が二十八万円程度。あとの帰国は向こうで航空券を買つて往復千ドルを割つたとか。だと東京の学生が年数回帰ることを考えると差はない。トランスファー後の授業料は大学によって差違があり、名門大学は相当高い。私と面接して一度チャンスを試してみれば、四月いっぱいぐらい可能。

余録  
二月二十四日、メール開設以来はじめて私に面会を求めるメールが入つた。今までは私の余技やボランティア、遊びのメールが主だつた。信者さんからの記念すべきメールがなんと、助石屋「さん」からだつた。もちろん「この電子時代に不思議なことですね」と返事を送つた。

中学時代のグレゴリオ暦の記憶。百で割り切れる年の内、四で割り切れる年は平年と。今年の暦を見て閏年になつている。どこで間違つたのかと疑問でたつた。ところが百で割り切れる年は本来閏年であるが、平年。そのうち四で割り切れる年が閏年であつたことが、二月二十九日になつてやつとわかつた。今度百と四での割り切れる年は二千四百年こ

ういつた問題が話題になるのだから、絶対確認できないと思つとむなしくなる。それにしても記憶は当てにならぬもの。